



社団法人発明協会 第32回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 優秀賞「明るいめがね」

ほうごう幼稚園(岐阜県岐阜市) 駒田 菜タちゃん

目の不自由な人がこのめがねをかけると、なんでもみえるようになるんだよ。ほらね!!かけたら見えすぎて、おどろいたの。でも、うれしくなったよ。

HEART REPORT

第54期 中間報告書

[平成22年2月1日～平成22年7月31日]

証券コード: 7956

CONTENTS

トップインタビュー.....	1
事業一覧.....	3
特集.....	5
連結財務ハイライト.....	6
連結財務諸表.....	7
インフォメーション.....	8
株主広場.....	9
会社概要.....	10



代表取締役社長 **大越 昭夫**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、第54期第2四半期連結累計期間における経済環境は、世界的な景気後退懸念や急速な円高進行の影響による企業収益の悪化が見られます。おかげさまで、妊娠、出産、子育てそして介護を通して、手助けを必要とするすべての人々に対し、経営理念である「愛」を、商品またはソフト・サービスの形にして提供する事業を展開するビジョングループの事業領域は、その事業内容から、比較的景気変動の影響を受けにくいと考えることができます。しかしながら、引き続き、変化の激しい国内、国外の事業環境に対して、スピード感のある対応を目指し万全な体制で臨んでまいります。

ビジョングループは、第三次中期経営計画の最終年度である今期を「勝負の年」として位置付けており、今まで仕込みをしてきた数々の施策を結実させるべく、全社員一丸となって業務に邁進しております。さらに、「Mamas&Papas」の通販事業の開始や大型育児用品の取扱いの開始、中国での第二工場の完成など、次期中期経営計画の礎となる新たな取り組みも継続して推進しております。

このような施策の実行により、「ビジョン」ブランド確立と、社員一人ひとりの実力の向上を果たし、ビジョングループは、厳しい世界経済を勝ち抜くことができる「真のグローバルカンパニー」への変貌を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、ビジョングループの事業活動に対するご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念 「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、
手助けを必要とするすべての人々に、

『愛』を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

トップインタビュー

全社一丸となって、第三次中期経営計画の達成を目指します。

第54期第2四半期累計期間の国内外の事業環境について、その概要をお聞かせください。

国内においては、出生数の減少が継続しております。そのため、市場全体の大きな拡大は見込めない状況にあります。また、円高の進行による景気の先行きへの不安感も消費を鈍らせております。そのような状況の中、ビジョングループの売上高につきましては、大型商品事業、「Mamas&Papas」事業等新規事業への参入もあり、増収となったものの、当初計画に対しましては未達となっております。

海外に関しても、増収となったものの、当初計画に対しましては未達となりました。特に、成長市場と位置づけております中国で、流通政策の見直し、建て直しを行った関係で事業の伸長スピードが鈍化しておりますが、将来的には、中国における売上高200億円を目指し、事業運営体制の整備、強化、さらに、生産拠点の拡充を進めております。第二工場の建設につきましても順調に進行しており、来期稼働を目指しております。また、今期新たな取り組みを始めております、インド、ロシア、韓国につきましても、若干遅れ気味ではありますが、事業拡大に向けた施設は、概ね順調に展開しており、北米をはじめとする他の国々につきましても販売は概ね順調に推移しております。

以上の結果、第54期第2四半期累計期間の売上高は、272億36百万円(前年同期比3.7%増)となり、利益面においては、経常利益17億55百万円(前年同期比19.5%減)、四半期純利益10億98百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

「第三次中期経営計画」の最終年度も残り半年となりましたが、今後の展望と取り組むべき課題についてお聞かせください。

この上半期には、新たに「Mamas&Papas」事業および、ベビーカーの販売を開始しており、どちらも消費者の皆様より高い評価をいただいております。現在は、まだ、採算ベースに乗るまでには至っておりませんが、この下半期では将来的な売上拡大に向けて体制をきちんと整えていきます。

ベビーカーのような大型商品につきましては、国内での市場拡大

を目指し、事業領域を拡大するという目的で展開しております。育児用品専門店に出向くと、ビジョングループが手がけていないものがまだまだあると感じます。だからといって、簡単に手がけることができるものではないのですが、赤ちゃんのことにに関して、ビジョングループは、54年間ずっと研究しておりますので、それを活かして商品を開発することが可能だと考えております。また、「Mamas&Papas」は、そのデザイン性等を学ぶことができますので、ビジョングループにはないテイスト、もの作りを開発部門が吸収できると考えております。

「リクーブ」は、この第三次中期経営計画の中でも、力を入れておりますが、当初の想定ほどは伸びていません。理由を考えると、「リクーブ」商品の領域に関しては、育児用品市場に比べ競争相手が多いということがあげられます。「リクーブ」は、元気な高齢者の方をターゲットとしておりますので、市場が大きく競合企業も多い状況です。その中で成功するには「リクーブ」というブランドがどこまで認知していただけるかにかかっております。HHC・介護事業は、まだ、売上高比率が低いセグメントですが、ビジョングループの将来に大きな柱となるよう活動を行っております。将来の礎を築いていくためにも、この下半期は重要になってきます。

企業成長を牽引している海外事業について、事業展開の状況と今後の展開についてお聞かせください。

海外事業は、この10年で、売上高が約8倍となりました。それを、牽引しているのは中国です。

中国は、市場の拡大を踏まえ生産体制の整備を着実に進めております。2016年1月期には、中国での売上高を200億円にしたいと考えており、それを実現するためにどのような商品が必要か、また、どのような販売チャネルが必要なのかを常に考えております。将来的に中国市場のポテンシャルは、売上高で600億円程度はあると考えております。赤ちゃんが年間約1,700万人産まれており、さらに、経済成長に伴い所得水準は年々向上しているため、売上を伸ばす余地は大きいと感じております。今後も、中国における事業展開が海外



事業の核となって、ビジョングループの成長を支えていきます。

シンガポールが統括するテリトリーも有望です。そのエリアは、オーストラリア、中東、インドも含まれます。その中で、インドは、昨年、現地法人を作り、優秀な日本人社員を2名派遣しております。インドは、年間約2,700万人も赤ちゃんが生まれておりますが、貧富の差が激しく、また、社会インフラも未整備であることから、売上高の拡大には時間がかかると考えていますが、将来に向けて積極的に取り組んでいきます。また、中東市場のポテンシャルも大きなものがあります。GAFTA(大アラブ自由貿易地域)は、出生数が約850万人あり、日本の8.5倍です。

北米では、子会社のランシノ社を中心に事業を進めております。現在販売している商品は「ランシノ」ブランドによる母乳関連商品のみで、哺乳器を中心とした育児用品は、まだ販売しておりません。今は、それをどのように展開するかを考えております。

中米・南米では、メキシコ、ブラジルが有望市場であると考えており、現在は、ランシノ社において調査等を行っております。本格的な参入には、丁寧な市場調査の上、検討する必要があると考えております。

また、ロシアでも新たな代理店と契約して順調に進んでおりますし、将来的にはアフリカも視野に入ってくると思います。

いまや、世界中で「ビジョン」の製品を展開することが、現実のものになりつつあります。0ヶ月から24ヶ月までの赤ちゃんの育つメカニズムは、全世界共通ですので、どこでも商売が可能です。ビジョングループは、第三次中期経営計画を進める中で、真のグローバルカンパニーとして大きく変貌を遂げました。次の中期経営計画では、現在のスローガンである「グローバルカンパニーへの飛躍」から次のステージへ着実に進んでいくでしょう。

Q 育児用品事業やヘルスケア事業において、さまざまなブランドを展開されていると思いますが、ブランド戦略については、どのようにお考えでしょうか？

ビジョングループは、ブランドメーカーですので、ブランディングに関しては、会社設立当初より、最も力をいれております。そのため、日本では、育児用品、哺乳器といえば「ビジョン」と言われるようになったと考えております。現在、テレビ番組「ベイビースタイル」を提供しておりますが、以前は30分番組を提供していたこともあります。売上がまだ少なかった時にも、売上高の1割を広告宣伝に使っておりました。

「ビジョン」を知っていただかなければ、商品を買っていただけない。それぐらいに、ブランディングをととても重要視してきました。ブランディングは、ビジョングループにとっては命です。そして、ブランドを浸透させることができるようなよい商品を作らないといけません。

中国をはじめ海外においても、その国々での市場調査に基づき、日本で行ってきたブランディングの戦略を踏襲しながら展開しております。活動のひとつに病産院に対する普及活動を徹底的に行うことがあります。日本でも、こういった活動が哺乳器のシェア8割という圧倒的なブランド力を支えていると考えております。現在、ビジョングループは、「ビジョン」という大きなブランドに加えて、韓国において「ダブルハート」も使っており、北米においては「ランシノ」ブランドで展開しております。また、HHC・介護事業では「ハビナース」「リクープ」というブランドも立ち上げております。これらのブランドは、すべて大事にしていかなければいけないと考えております。

Q CSRに対する取り組みについて、環境保全などへの考え方も含めてお聞かせください。

CSRに関して、ビジョングループは、赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーンを、もう24年続けております。そこには、育児も植樹もあい通じるものがあるという考えがあります。「育児と育樹、心は同じ」をコンセプトとし、1987年より記念植樹を行っております。また、ビジョングループの創業者である仲田祐一が、発明協会に寄贈した基金により「未来の科学の夢絵画展」の幼稚園の部の会長賞ならびに優秀賞を受賞した幼稚園に対して奨励金を贈呈しており、これも長期に亘り継続しております。また、昨年中国において、小学校の校舎を毎年1校ずつ寄贈しております。公立の学校ではありますが、「貝親(ビジョン)希望小学校」と名付けていただきました。最初の年となった昨年は、大きな地震があった四川省に3階建ての小学校を寄贈しました。今後におきましても、長く続けていきたいと考えております。近年は、サステナビリティについての関心が高まっており、CSR活動は、持続性、継続性が重要であると考えております。最初の植樹に参加した人は、もう、24歳になっており、中国での小学校の寄贈も長く続けていけば地域に根付いていくと考えております。10年後には、寄贈した小学校が10校以上になっており、ビジョングループの中国での売上も現在の3倍ぐらいになっているのではないのでしょうか。それも楽しみです。

Q 最後に、株主・投資家の皆様へメッセージをお願いいたします。

第三次中期経営計画の最後の年として、「勝負の年」である第54期も肅々と目標に向かって事業を進めてまいります。また、第三次中期経営計画において、その最終年度である今期での連結総還元性向を50%とする目標を掲げ、株主の皆様への積極的な利益還元を目指しております。ビジョングループは、手がけている事業の内容が、「人」に関わるものであり、現在の厳しい経済環境の中で、数少ない5年後、10年後を語ることができる会社であり、株主の皆様にご期待いただける未来のある会社であると考えております。

株主の皆様には、中長期的にビジョングループの事業を温かく見守っていただき、今後とも、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。



■事業一覧

●セグメント別状況 連結売上高 272億36百万円

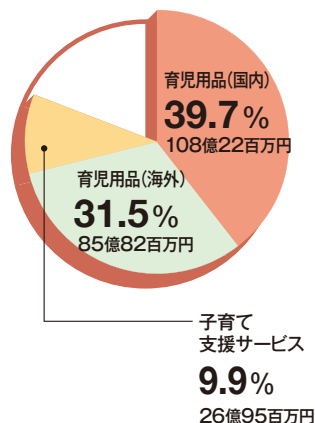
●事業区分

●売上高・売上比率

●業績の概要

●取扱商品／サービス

育児事業



81.1%
220億99百万円

■国内育児用品事業

多様化するお客様のニーズにお応えするため、50年以上の哺乳研究により、さらに進化した新しい哺乳びん「母乳実感」、赤ちゃんから幼児期まで長く使える「ストローボトルTall(トール)」、および、ベビーカー「Pixy-turn」などを新発売しております。また、ブランド力強化のために注力しておりますダイレクト・コミュニケーションの一環として実施しております「マタニティ・イベント」につきましては、合計で1,300名を超えるマタニティの方のご参加をいただき、「クチコミ コミュニティサイト」である「ビジョンインフォ」の会員数も順調に新規加入を獲得しております。さらに、英国ベビー用品デザイナーズブランド「Mamas&Papas」は、本年3月より本格的にカタログ、インターネットによる販売を始めております。

■海外事業

地域別売上実績は、中国、アメリカを中心として、現地通貨ベースにおきまして前年を上回る業績となりました。中国では、マタニティイベントの開催、病院における普及活動の強化、テレビコマーシャルの提供等、さらなるブランド力強化に注力しながら営業活動を行っております。生産設備増強の取り組みに関しては、連結子会社PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.におきまして、第一期工事が順調に進行しており、本年11月に完成予定となっております。また、同国衛生部と連結子会社PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.で展開しております「ビジョン母乳育児相談室」を含め、全国188箇所の病院と提携し、母乳育児に関する啓発活動を行っております。アメリカでは、母乳関連商品のライン拡充を行うなど、順調な営業活動を行っております。また、新規市場開拓を目的としてインドに設立いたしました連結子会社PIGEON INDIA PVT. LTD.は、4月に新たにスキンケア用品の販売を開始するなど本格的な活動を行っております。

■子育て支援サービス事業

引き続き事業所内保育施設の運営受託をはじめとする営業活動を行っており、2月に1箇所、3月に2箇所、4月に1箇所、7月に1箇所の新規運営受託を開始しております。

以上の結果、育児事業の売上高は、220億99百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

●授乳関連用品

哺乳びん
乳首
哺乳びん用洗剤
哺乳びん消毒剤
哺乳びんケース
哺乳びん洗浄用品
母乳パッド
母乳バック
さく乳器

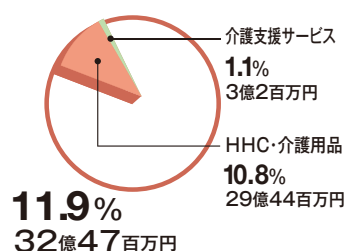


●離乳関連用品

マグマグ
調理用品
ベビー食器・食具
エプロン
ベビーフード
ベビー飲料



ヘルスケア事業



11.9%
32億47百万円

アクティブエイジの方を応援するブランド「リクーブ」は、引き続きイメージキャラクターとして女優の香山美子さんを起用し、イベント、ポスター、専用カタログ等の展開を行っております。商品展開に関しましては、「いきいきキープパッド・いきいきキープパンツ」などを新発売しております。また、新規販売チャネルとして獲得した通信販売は、特にテレビショッピングにおきまして、リクーブ商品の売上が伸長しておりますが、新商品を中心とし、商品認知の遅れ、および、店頭への商品配荷の遅れ等により前年同期実績に届きませんでした。今後は、イベント開催、情報提供強化等によるブランド認知の拡大、商品展開の積極的拡充、および、新規販売チャネルの獲得等に取り組んでまいります。また、介護用品ブランド「ハビナス」では、「見守りセンサシリーズ」を新発売しております。

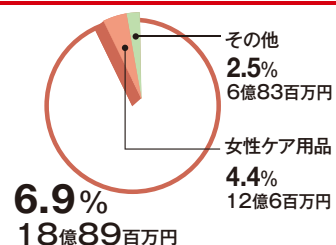
以上の結果、ヘルスケア事業の売上高は32億47百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

●介護用品・老化予防用品

大人用紙おむつ
尿とりパッド
快適パッド
おむつカバー
吸収パンツ
快適パンツ
防水シート
おしりふき
からだふき
尿器
シャンプー
清拭料
消臭用品
食器・食具
食事用エプロン
口腔衛生用品
歩行補助器
介護用ベッド



その他事業



6.9%
18億89百万円

商品展開として、毎日の食事・栄養や体重管理に気づかう妊娠期の女性向けおやつ「ざくっとクッキー」を新発売しております。

以上の結果、その他事業の売上高は18億89百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

●女性ケア用品

サプリメント
マタニティ
インナーウェア



●スキンケア用品

ソープ
シャンプー
オイル
ローション
沐浴料
UVケア
パウダー
おしりナップ
ウエットティッシュ



●その他ベビー関連用品

綿棒
つめきり
ヘアケア
体温計
はな吸い器
クールまくら
ベビー医薬品
乳歯ブラシ
歯みがき
温湿度計
湯温計
セーフティグッズ
おしゃぶり
トイ
ベビーシューズ



●子育て支援サービス

保育サービス
事業所内保育
運営受託
託児
ベビーシッター
サービス
幼児教育サービス



車椅子
寝巻
サプリメント
ステッキ
シューズ



●介護支援サービス



栃木県下において事業展開

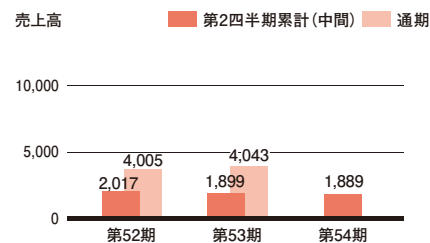
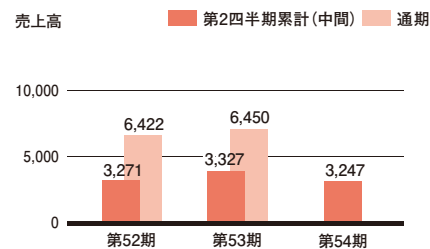
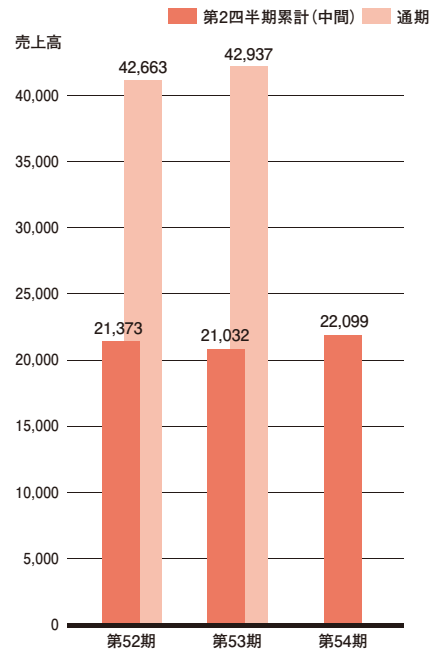
●その他



一般用ウエットティッシュ、その他

●売上高の推移

(百万円)



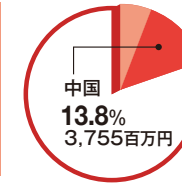
●地域区分

●売上高・売上比率

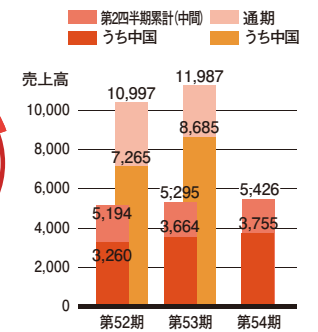
●売上高の推移 (百万円)

アジア

中国(含香港)
シンガポール
韓国 他



19.9%
5,426百万円

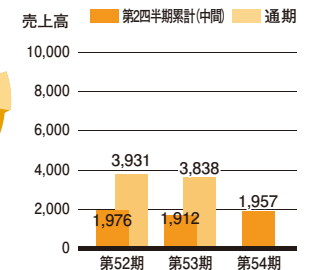


北米

アメリカ
カナダ 他



7.2%
1,957百万円

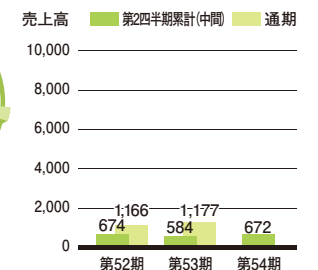


中近東

アラブ首長国
連邦 他



2.5%
672百万円

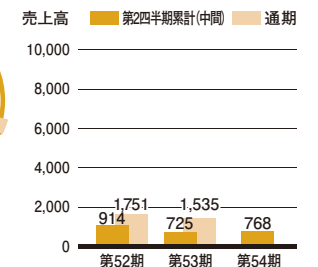


その他

イギリス
パナマ
南アフリカ 他



2.8%
768百万円



ピジョングループの収益力を事業別にご説明します！

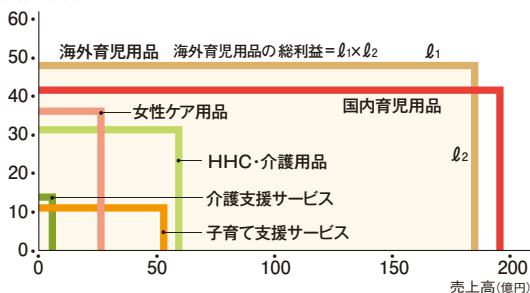
私たちが展開している事業のポートフォリオと収益力を図示しています。

ピジョングループの収益源泉と事業ポートフォリオ

(第53期実績ベース)

ピジョングループを支える主要事業には「国内育児用品」・「海外育児用品」・「子育て支援サービス」・「HHC・介護用品」・「介護支援サービス」・「女性ケア用品」の6つがあり、確かな成長とさらなる飛躍をはかる大きな原動力となっております。

総利益率(%)



上のグラフはピジョングループの収益の源泉としての事業ポートフォリオをグラフで表しております。タテ軸が総利益率で、各事業の収益性を示しております。ヨコ軸が売上高で、各事業の規模を示しております。それぞれの面積が総利益の大きさの割合を示しており、海外育児用品が規模と収益性を兼ね備えたピジョングループの成長のエンジンであることや、国内育児用品がグループの中核事業として規模と収益性のバランスがとれていることが分かります。



母乳実感



おしりナップ



「Mamas & Papas」通信販売サイト



保育施設



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約37%を占めている当社の基幹事業であり、総利益率は約40%となっております。今後は、新規マーケットへの取り組みや新規カテゴリーへの参入による売上の増加と総利益の向上を目指します。

●国内育児用品

事業内容

●50年以上にわたる哺乳研究や乳幼児発達研究により、赤ちゃんの成長過程を深く掘り下げており、その中から育児に関する「お困りごと」を解消する商品を開発しております。

今後の展望

- 商品力をさらに向上させるとともに、従来のベビーより年齢の高いお子様向け商品も提供するなどの、多様化する顧客ニーズに対応しております。また、大手小売店と協働し、当社ならではの売場作りと販売促進策を展開しております。
- 新規マーケットへも積極的に取り組んでおります。「ピジョンモール」をはじめ楽天・Yahoo!JAPAN・Amazonなどに販路を広げております。また、ダイレクトコミュニケーションの充実を図るためのクチコミサイト「ピジョンインフォ」にも力を入れております。
- 英国Mamas&Papas社商品の日本国内の独占販売契約を締結し、3月より通信販売の事業を開始しております。同社のファッション性の高い商品への展開により、新たな市場へ事業拡大しております。
- 新規カテゴリーへの参入としてベビーカーなどの大型商品を2010年から本格的に展開しております。



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約9%を占め、総利益率は、約11%となっております。育児用品で培った安全・安心のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」着実に伸長しております。

●子育て支援事業

事業内容

●認可保育園、認証保育園、事業所内保育施設などの保育施設、キッズワールドをはじめとした幼児教育施設の運営、在宅支援のベビシッターサービスなどを運営しております。

今後の展望

- 「事業品質の強化」に力を入れており、事業所内保育を中心に積極展開することと保育スタッフの人材教育の充実により、着実な事業の拡大と品質の向上を進めます。



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約34%を占めており、今後も売上の増加が期待される成長分野です。総利益率は、約50%と、国内育児用品事業を上回っております。今後は、中国に続いて新興市場での展開と、ランシノ・ラボラトリーズ社による北米・欧州展開を推進します。

●海外育児用品

事業内容

●国内で、圧倒的な優位性を誇るピジョンブランドの商品力を基に海外でも育児用品事業を展開しております。海外の現地生産にも、日本基準を適用した徹底的な品質管理を実施し、海外においてもピジョンブランドは、ご支持いただいております。

今後の展望

- 中国においては、2009年より、中国国家衛生部との共同プロジェクトとして34ヶ所の病院に「母乳育児相談室」を開設しており、生産面では、上海に続いて2011年には江蘇省常州市においても現地生産を開始する予定です。
- 北米・欧州においては、2004年に子会社化したランシノ・ラボラトリーズ社を中心に展開しております。同社は、高いブランド力を誇り、母乳育児関連商品は多くの支持を得ています。欧州へは、イギリス、ドイツに展開し、さらにトルコにも進出してまいります。
- その他の地域では、インドの駐在員事務所を、2009年に現地法人化し、本格的な営業、マーケティング活動を開始しております。また、ロシア、韓国においても新たな代理店を通じて本格的に展開を進めてまいります。



母乳育児相談室



ピジョンコーナー (浙江省臨安市)



インド屋外広告



米国ランシノ・ラボラトリーズ社販売商品



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約11%となっており、総利益率は、約31%となっております。今後は、「リクープ」ブランドの割合を高めていくことで事業セグメントの伸長を目指します。

●HHC・介護用品

事業内容

- 老化のメカニズムを研究し、加齢によるさまざまな「お困りごと」を解消することでアクティブエイジの皆様を応援するブランド「**リクープ**」と介護用品ブランドの「**ハビナース**」ブランドで、排泄・入浴・衛生・食事・寝具・移動など多くのカテゴリーにわたって展開しております。

今後の展望

- 「**リクープ**」は、商品拡充やリクープコーナーの展開などブランドの育成に努めます。
- 「**ハビナース**」は、商品の充実を図り、小売店・施設・病院への営業活動を強化します。



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約1%となっており、総利益率は、約14%となっております。今後も、栃木エリアで着実に事業展開していきます。

●介護支援サービス

事業内容

- ビジョン真中(株)**により展開する「**在宅介護支援サービス**」は、訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、福祉用具貸与販売など、栃木市周辺エリアを中心に事業展開しております。

今後の展望

- 今後も在宅介護支援サービスを中心に地域に密着した事業を展開していきます。



売上・収益コメント

当社全体の売上高のうち、約4%となっており、総利益率は、約38%となっております。今後は、市場動向にスピーディに対応した商品展開で、売上、利益の伸長を目指します。

●女性ケア用品

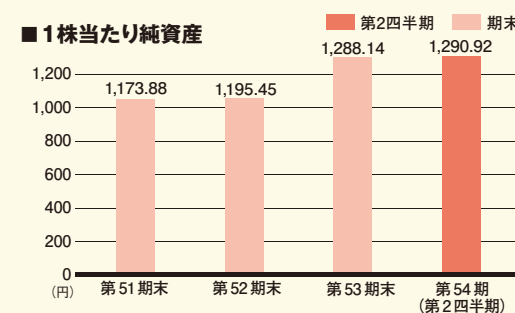
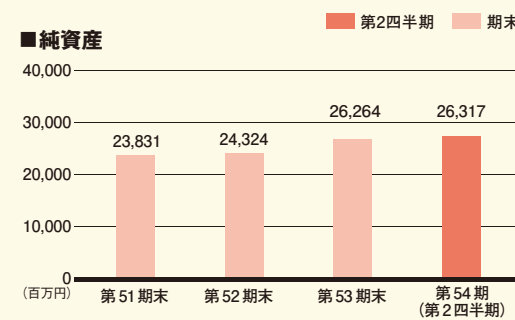
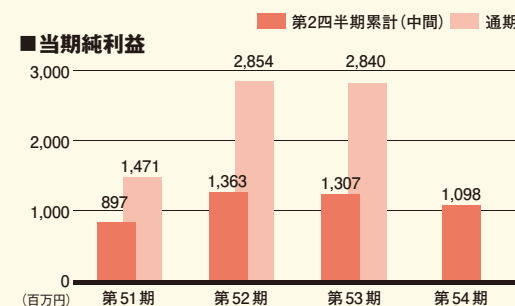
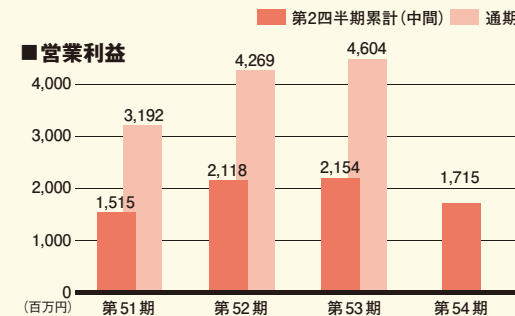
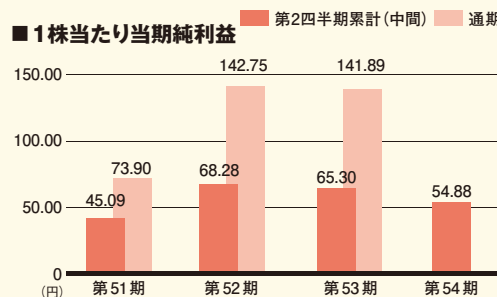
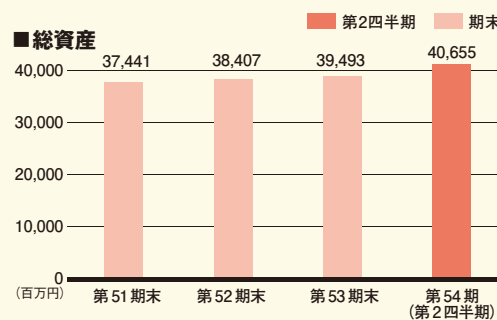
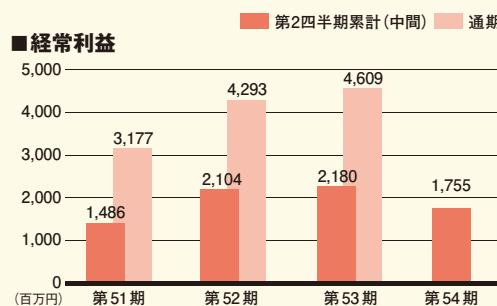
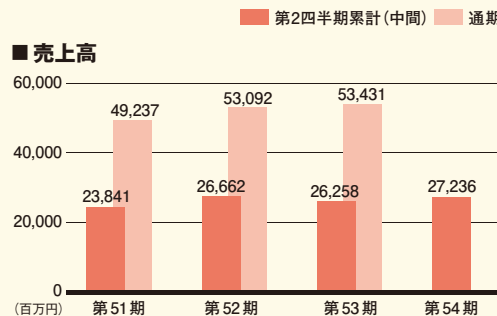
事業内容

- 日本国内においては、妊娠・出産・育児期の**サプリメント**と**マタニティインナーウェア**を取り扱っております。中国においては、スキンケア商品を中心に展開しております。

今後の展望

- 長年の妊産婦研究を通して開発したサプリメント・スキンケア・食品・インナーなどビジョンならではの特長のある商品群により業績拡大を目指します。

■連結財務ハイライト



連結財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第54期 第2四半期末 平成22年7月31日現在	第53期 第2四半期末 平成21年7月31日現在	第53期末 平成22年1月31日現在
資産の部			
流動資産	23,311	22,471	22,272
固定資産	17,344	16,969	17,221
資産合計	40,655	39,441	39,493
負債の部			
流動負債	11,749	11,338	10,694
固定負債	2,588	2,653	2,535
負債合計	14,338	13,991	13,229
純資産の部			
株主資本	27,435	26,087	26,977
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,180	5,180	5,180
利益剰余金	17,502	16,151	17,044
自己株式	△446	△444	△446
評価・換算差額等	△1,597	△1,081	△1,195
その他有価証券評価差額金	14	13	7
為替換算調整勘定	△1,612	△1,094	△1,203
少数株主持分	479	443	482
純資産合計	26,317	25,449	26,264
負債純資産合計	40,655	39,441	39,493
1株当たり純資産額(円)	1,290.92	1,249.35	1,288.14

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

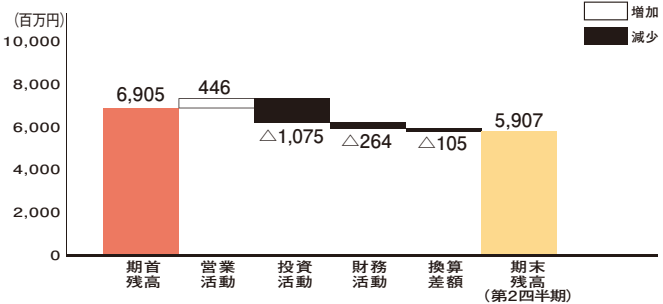
科目	第54期 第2四半期累計 平成22年2月1日から 平成22年7月31日まで	第53期 第2四半期累計 平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで	第53期 平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで
売上高	27,236	26,258	53,431
売上原価	16,076	16,112	32,528
販売費及び一般管理費	9,444	7,991	16,298
営業利益	1,715	2,154	4,604
営業外収益	237	212	409
営業外費用	197	186	404
経常利益	1,755	2,180	4,609
特別利益	1	4	4
特別損失	92	403	448
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,664	1,781	4,165
法人税、住民税及び事業税	595	610	1,299
法人税等調整額	△79	△197	△89
少数株主利益	49	61	115
四半期(当期)純利益	1,098	1,307	2,840
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	54.88	65.30	141.89

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第54期 第2四半期累計 平成22年2月1日から 平成22年7月31日まで	第53期 第2四半期累計 平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで	第53期 平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	446	2,464	4,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,075	△777	△2,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264	△1,030	△2,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105	198	91
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△998	855	932
現金及び現金同等物の期首残高	6,905	5,972	5,972
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,907	6,828	6,905

■連結キャッシュ・フロー推移グラフ



POINT-1

■連結貸借対照表

【資産】

資産の残高は406億55百万円となり、前期末と比べ11億61百万円の増加となりました。流動資産は10億38百万円の増加、固定資産は1億23百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、受取手形および売掛金が11億29百万円増加したことによるものです。固定資産の増加の主な要因は、タイの生産拠点である連結子会社PIGEON INDUSTRIES(THAILAND)CO.,LTD.における新工場建設、ならびに中国の新生産拠点として昨年設立した連結子会社PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU)CO.,LTD.における工場建設等によるものです。

【負債】

負債の残高は143億38百万円となり、前期末と比べ11億9百万円の増加

となりました。流動負債は10億55百万円の増加、固定負債は53百万円の増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、支払手形および買掛金が3億24百万円、短期借入金が5億3百万円増加したことによるものです。

【純資産】

純資産の残高は、263億17百万円となり、前期末と比べ52百万円増加となりました。

POINT-2

■連結キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による現金および現金同等物(以下「資金」という)の増加は、4億46百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が16億64百万

円、減価償却費が8億4百万円となったものの、売上債権の増加額が12億74百万円、たな卸資産の増加額が7億79百万円となったこと等によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動による資金の減少は、10億75百万円となりました。有形固定資産の取得による支出が10億15百万円、無形固定資産の取得による支出が69百万円となったこと等によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金の減少は、2億64百万円となりました。これは、短期の借入および返済による資金の増加が5億29百万円あったものの、長期借入金の返済が1億7百万円、配当金の支払額が6億39百万円となったこと等によるものです。

トピックス

●「Mamas&Papas」(ママス&パパス)販売開始

平成21年6月に、日本における独占販売権を取得しました、英国「Mamas & Papas」(ママス&パパス)の通信販売カタログを2月に創刊し、全国販売を開始いたしました。



「Mamas & Papas」(ママス&パパス)は、豊かな育児ライフをトータルにサポートするブランドです。ファッション性の高い育児用品・マタニティ用品に定評があり、安全性への取組姿勢も高く、当社が自信をもってお勧めできるブランドです。

総合版・アパレル版の2冊のカタログは、英国において、数々の受賞歴を持つ幅広い商品アイテムの中から十分に吟味した、マタニティウェアやベビーウェアなどのアパレルと、ベビーカーをはじめとしたお出かけアイテム、ヨーロッパらしいベビーベットのシリーズとインテリア、おもちゃ、ギフトなど約1,000アイテムを掲載しております。

●日本国内で大型商品の販売開始

ベビー用品市場において、当社は哺乳びんなどの生後24ヶ月までの赤ちゃんが使う商品を中心とした事業展開を続けてきましたが、事業領域拡大のため自社ブランドのベビーカーなどの大型商品市場に参入いたします。

第一弾として、高さを選べる2段ハンドルのA形ベビーカーSmile(スマイル)を発売し、平成22年4月より、赤ちゃんファーストの発想を活かして開発したPixy-turn(ピクシーターン)の販売を開始しました。この商品は、赤ちゃんを乗せたまま、立ち位置を変えずに片手でクルッとシートを360°回転することができる(日本初)ため気軽に向きを変えていただくことができます。また、フルフラットのシートはベット形状からイス形状に変化し寝ている時でも起きている時でも赤ちゃんは心地よくすごせます。お子さまの成長に合わせて、生後1ヶ月から36ヶ月まで長く使っていただけます。



新商品紹介

●ビジョン「新・母乳実感®」

赤ちゃんの哺乳について創業以来50年以上研究を重ね、理想の哺乳を目指して赤ちゃんのお口の動きを見つめなおし、よりスムーズな哺乳をサポートする哺乳びん「新・母乳実感®」を、3月より新発売いたしました。哺乳研究の深耕により、赤ちゃんの哺乳に大切なのは、これまでビジョンが解明してきた「吸啜(きゅうてつ)」に加え、さらに「吸着(きゅうちゃく)」と「嚥下(えんげ)」が大切であることがわかりました。



「新・母乳実感®」は、赤ちゃんのスムーズな哺乳運動「吸着(きゅうちゃく)・吸啜(きゅうてつ)・嚥下(えんげ)」をサポートする哺乳びんです。唇を大きく外に開いて乳首をしっかりとらえ密着し、そしてなめらかに舌を動かして(蠕動様運動※)、赤ちゃんの成長に合った必要な量の母乳を引き出し、むせこまないように飲む、という自然な哺乳運動を促します。

乳首は赤ちゃんの成長段階に応じて、Sサイズ(新生児用)・Sサイズ(1ヶ月頃)・Mサイズ(3ヶ月頃)・Lサイズ(6ヶ月頃)の4種類提供しています。赤ちゃんの発育に合わせて、乳首の厚みややわらかさ、形状を工夫して、その時期に合った赤ちゃんのなめらかな哺乳をサポートいたします。

ビジョンインフォで行った購入者アンケートによると、90%の方が「赤ちゃんが上手に飲めた」と回答しております。また、お父様も「新・母乳実感®」を使って授乳を楽しんでいる、広口でお母様使いやすい、などのお声もいただいております。

ビジョンの哺乳びん・乳首は、全国のもっとも多くの病院・産院で使われております。今後もビジョンは、直接母乳をあげられないときでも、母乳育児を望むお母様をサポートしてまいります。

※蠕動様運動(ぜんどうよううんどう):赤ちゃんが母乳を搾り出し、引き出す時の舌の波動上の運動を示します。大人には真似の出来ない赤ちゃん特有の舌運動です。1988年ビジョンは「蠕動様運動」を解明し、その後もさらなる哺乳研究を進めております。

●リクーブ「いきいきキープパッド/いきいきキープパンツ」

高齢者の自立を促し、紙おむつを使用せず安心して快適に過ごすことができるリクーブ「いきいきキープパッド/いきいきキープパンツ」を2月より、新発売いたしました。

大人用紙おむつは、大半の方が出来れば使用したくないと考えていますが、尿もれ用パッドと合わせてアウターがわりに紙おむつを使用しているケースが多く見受けられます。

リクーブ「いきいきキープパンツ」は、尿もれ用パッドリクーブ「いきいきキープパッド」と合わせてお使いいただく布製のパンツです。身生地は伸縮性があり、股部にギャザーを施したためパッドがフィットし、ずれにくくモレを防ぎます。両脇にビジョン独自の「指がかり」を取り付けたため、トイレで手間取らず手の力に不安のある高齢者の方でも脱ぎやすくなっております。

リクーブ「いきいきキープパッド」は、薄型タイプで付けていることが気にならず、尿350mlを吸収するため一気に出してしまうことがあっても安心です。ムレや臭いにも配慮し、お肌にやさしく快適にお使いいただけます。普通の下着と変わらない快適な着心地とモレにくい工夫を両立しました。

毎日の紙おむつ代を節約し、ゴミを減らすことで地球環境に優しく、とても経済的です。

今までと変わらない布製パンツをはき、自分の意思でトイレで排泄することにこだわることによって、排泄機能を維持することに繋がります。

リクーブ「いきいきキープ」は年を重ねても、いつまでも変わらずいきいきと過ごせるようサポートいたします。





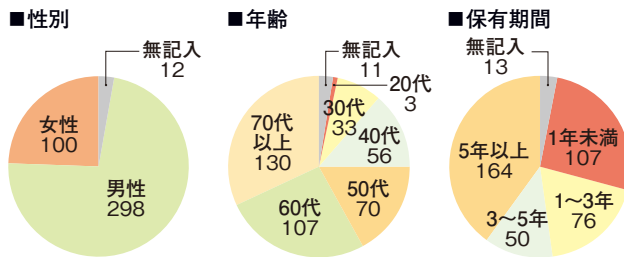
株主広場

<株主アンケート>結果のご報告

本年4月に第53期報告書のご送付とともに実施いたしました<株主アンケート>につきましては、410名の株主様からご回答ならびに貴重なご意見をお寄せいただきました。

皆様からいただきましたご意見は、これまで同様、今後の当社グループの経営方針やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。アンケート結果の概要は下記のとおりでございます。

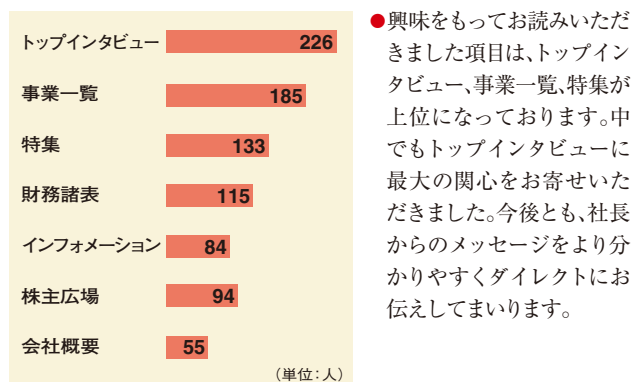
① 回答いただいた株主様の属性 (単位:人)



② 報告書についてのご感想

- 今回もご回答者の80%近くの方から「分かりやすい」との評価をいただきました。分かりやすい報告書の内容を目指している私どもにはなによりも励みになりました。
- 2%弱の方ではございますが、「分かりにくい」とのご感想もいただきました。今後ともより分かりやすい内容の充実を目指してまいります。

③ 株主様に興味を持ってお読みいただけたもの(掲載ページ順)



- 興味をもってお読みいただきました項目は、トップインタビュー、事業一覧、特集が上位になっております。中でもトップインタビューに最大の関心をお寄せいただきました。今後とも、社長からのメッセージをより分かりやすくダイレクトにお伝えしてまいります。

④ 今後、報告書に期待する点、あるいは要望したい事項

- 長期ビジョン、経営計画、商品開発計画等、将来展望が最も知りたいところです。
- いつも新商品紹介を載せて頂きたい。
- トップインタビュー、毎回わかりやすく、今後も株を持ち続けてみようという気持ちになりました。
- 会社が発展していくような内容の報告書を期待したい。
- 特集企画は大変よかったです。頑張っているのがよくわかって何だか嬉しいです。「Baby Style」時々見えます。
- 表紙の絵を楽しんでいます。もう少し大きくして欲しいです。切り取って飾っています。

⑤ 当社(グループ)に対する主なご意見、ご要望

- トピックスで「中国、四川大地震、被災地に小学校を寄付」を読んで株主の一人として大変誇りに思いました。これからも困っている人達の為に、役立つ会社であって欲しいと思います。
- 海外事業について情報不足になりがちですので、WEBサイトもIRも海外の部分で充実させて欲しい。
- 少子高齢化に伴い、介護に関する品、情報の充実がさらに期待されると思います。より一層の研究・開発をお願いいたします。
- ヘルスケア事業を強化しようとしているのか、どうしたいのかわかりません。育児事業中心のビジョンがこの分野をどう強化していくのか、ビジョンの強みをこの分野でどう活かしていくか知りたい。
- ゆりかごから墓場までといわれる様、出産から介護まで私たちの生涯役立つ製品をそして堅実経営を期待しています。

⑥ いただきました皆様のご意見に対する当社(グループ)の施策対応および今後の対応予定について

- インフォメーションに新商品の紹介を掲載いたしました。
- 海外事業、ヘルスケア事業とも今後の展開や進捗状況をも含め掲載したいと考えております。

<株主アンケート実施についてお願い>

左記にてご報告のとおり、前回のアンケートでも株主様より大変有意義なご意見を多数お寄せいただきました。そこで、今号でも引き続きアンケートを実施させていただくことといたしました。

つきましては、大変お手数ではございますが、同封いたしました「株主アンケートはがき」にご記入の上、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

なお、アンケートの結果につきましては、平成23年4月にお届けする次号(第54期 報告書)においてご報告させていただく予定です。

アンケート内容

Q1 今回の報告書をご覧になってのご感想をお聞かせください。

1. 内容が分かりやすかった
2. 内容が分かりにくかった
3. どちらとも言えない

Q2 今回の報告書の記載内容のうち、特に興味を持ってお読みいただけたものを3つお選びください。

1. トップインタビュー
2. 事業一覧
3. 特集企画
4. 財務諸表
5. インフォメーション
6. 株主広場
7. 会社概要

Q3 ビジョングループのどの事業に関心を持っておられますか? (複数回答可)

1. 国内育児用品事業
2. 海外育児用品事業
3. 子育て支援サービス事業
4. ヘルスケア事業
5. その他事業(女性ケア用品等)

Q4 当社株式を購入された理由は何でしょうか? (複数回答可)

1. 経営理念
2. 事業内容
3. 商品開発力・技術の高さ
4. 将来性・成長性
5. 収益性
6. 財務内容
7. 配当金・配当性向
8. 証券会社や知人の紹介
9. 株価
10. 社会貢献活動
11. その他()

Q5 今後、報告書に期待したい点、あるいは、より内容の充実を望まれることをお書きください。

Q6 当社(グループ)に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

会社概要

- 設立年月日 昭和32年8月15日
- 事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
- 資本金 5,199,597千円
- 従業員数 870名（※正社員および契約社員の人数です）
- 本社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号
TEL 03-3661-4200（代表）

■役員（平成22年10月1日現在）

- 取締役最高顧問 仲田 洋一
- 代表取締役会長 松村 誠一
- 代表取締役社長 大越 昭夫
- 専務取締役 佐久間 隆
- 常務取締役 太田 和比古
- 取締役 山下 茂
- 取締役 甘利 和久
- 常勤監査役 大藪 克実
- 常勤監査役 田中 公義
- 監査役 西山 茂
- 監査役 出澤 秀二
- 執行役員 松永 勉（経営企画本部長）
- 執行役員 高島 康（経理財務本部長）
- 執行役員 板倉 正（人事総務本部長）
- 執行役員 仲田 祐介（開発本部長）
- 執行役員 湯田 博毅（国内ベビー・ママ事業本部長）
- 執行役員 倉知 康典（国内ベビー・ママ事業本部副本部長）
- 執行役員 石上 光志（HHC・介護事業本部長）
- 執行役員 高坂 功（海外事業本部長）
- 執行役員 北澤 憲政（海外事業本部副本部長）
- 執行役員 赤松 栄治（子育て支援事業本部長）
- 執行役員 岩本 忍（ロジスティクス本部長）

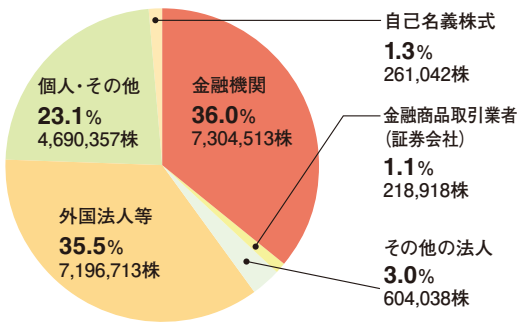
（注）監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■株式の状況（平成22年7月31日現在）

- 発行可能株式総数 60,000,000株
- 発行済株式の総数 20,275,581株
- 株主数 6,904名
- 自己株式 261,042株

大株主（上位10名）	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,292	11.31
仲田洋一	2,036	10.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,885	9.30
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,209	5.97
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー・アカウント	465	2.30
ビービーエイチ マシユーズ アジア デイビデンド ファンド	454	2.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	422	2.09
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	408	2.01
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	394	1.95
野村信託銀行株式会社(投信口)	368	1.82

■株式分布状況（所有者別）



■主要事業所

- 事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区
- 物流センター 茨城県稲敷郡阿見町
茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町
- 研究所 茨城県つくばみらい市
- 営業拠点 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・
広島・福岡

■次の17社を連結の対象にしています。

- ピジョンホームプロダクツ(株) ●ピジョンウィル(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
- LANSINOH LABORATORIES,INC.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.
- SHANGHAI CHANGNING PIGEON LAND
EDUCATION TRAINING CENTER.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND) CO.,LTD.
- THAI PIGEON CO.,LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU) CO.,LTD.
- PIGEON INDIA PVT.LTD.

■次の2社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA ●クラフレックス茨城(株)

株主メモ

証券コード	7956
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領 株主確定日	1月31日
中間配当金受領 株主確定日	7月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料 平日9:00～17:00)
(ホームページ)	http://www.tr.mufig.jp/daikou/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子 公告によることができない場合は、日 本経済新聞に掲載して行います。

〈ご案内〉

● 株式に関する住所変更等のお問合せおよび届出について

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

● 特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

● 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

● インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。



ビジョン トップページ



IR情報トップページ

ビジョン トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

将来予測に関する記述についての注意事項

本報告書の将来予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている事業予測とは異なる可能性があることをご承知ください。



この報告書は環境保全のため、FSCミックス認証紙と、環境に優しい大豆油インキを使用
して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。